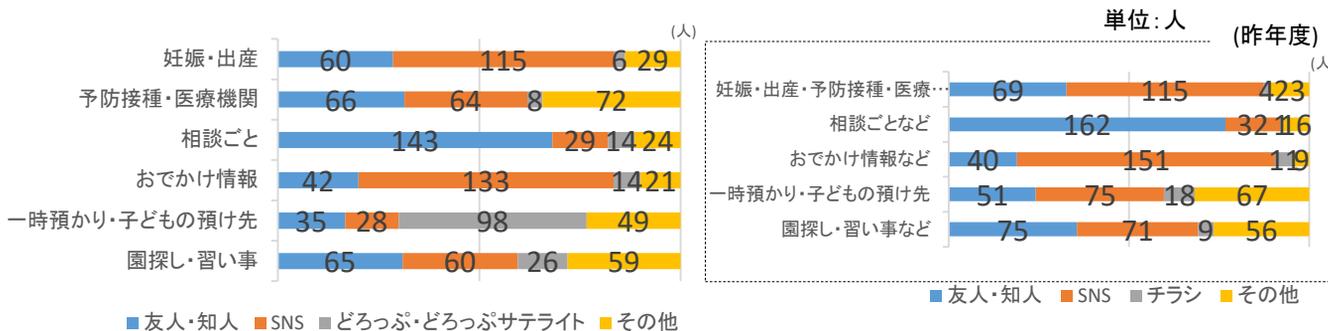


2024年度 港北区地域子育て支援拠点どろっぴ・どろっぴサテライト 利用者アンケート結果

実施期間：2025年1月
回答数：210（どろっぴ大倉山：103 / どろっぴサテライト綱島：107）

利用者アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。皆さんの貴重なご意見は、スタッフ、港北区役所、関係機関、そして利用者の皆さんと一緒に、今後の運営に活かしていけるよう参考とさせていただきます。

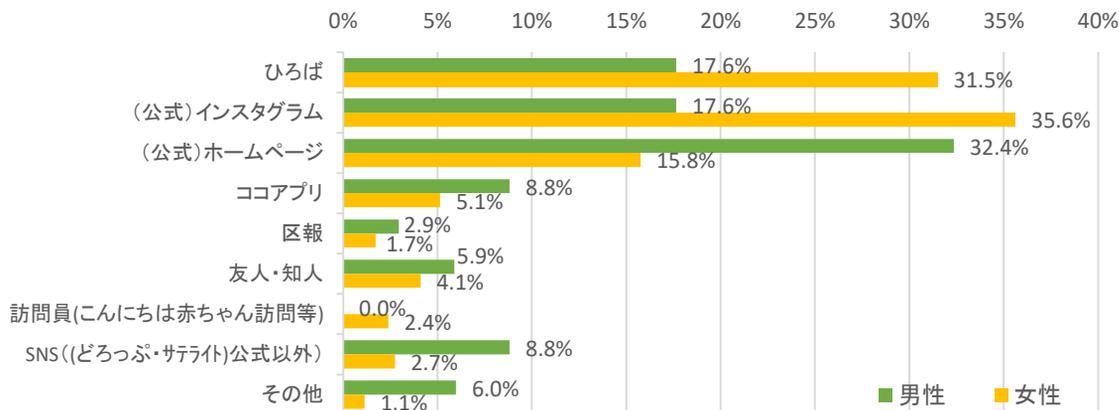
Q：子育て情報を得るとき、もっとも利用している方法を教えてください。



昨年と比較しても妊娠・出産・おでかけ情報は引き続きSNSから得るとい方が多いことがわかります。地図や動画などがわかりやすいということでしょうか。一方相談ごとは友人・知人と答える方が多く見られました。妊娠中はまだ話せる友人が少ない方も。何かを決定するための情報は直接聞いたものが安心できるようです。そしてその情報がどろっぴ・どろっぴサテライト(以下どろっぴと表記)で出会った友人・知人からだったとしたら、ここがコミュニケーションの場となり、より安心できる情報を得られているのかもしれない。

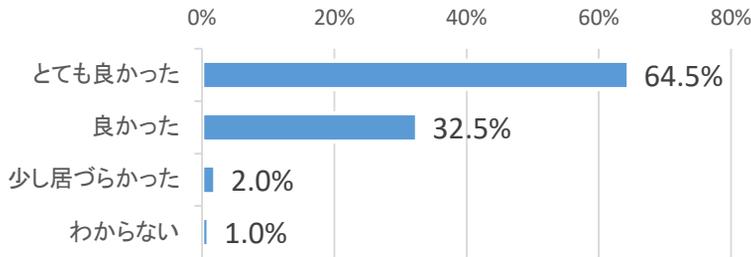
今回のアンケートでは一時預かりの情報をどろっぴから、という回答が多く利用者の関心が高いことが読み取れました。また、「その他」と答えた人の具体的な回答は「インターネット検索」「web」「YouTube」「口コミサイト」などが目立ち、頼りにするのはスマホという印象ですが、他に区役所、区報、保健師という回答もありました。

Q：どろっぴのプログラム等の情報をどこから得ていますか？



プログラムの情報源は男女で大きく異なっています。男性はホームページからが32%と最も多く、インスタグラム、ひろば17%、一方女性はインスタグラム35%、ひろば31%と続いています。子育ての合間に情報を得やすいのは通知が流れてくるインスタグラムとなり、ホームページは欲しい時に自分から情報を取りに行くという性質があるのでこのような結果になっているのかもしれない。どろっぴを利用するようになると、ひろばからの情報(スタッフ・チラシなど)が多くなるようです。

Q：どろっぴの居心地はいかがですか？



遊具やおもちゃが多く子どもが喜んでくれた

・一人でも居心地が良い
・孤独を感じにくい

親の居場所となっていてありがたい

知り合いがいなくても誰かしら話してくれる

こんな施設が近所にもあったらいいのに

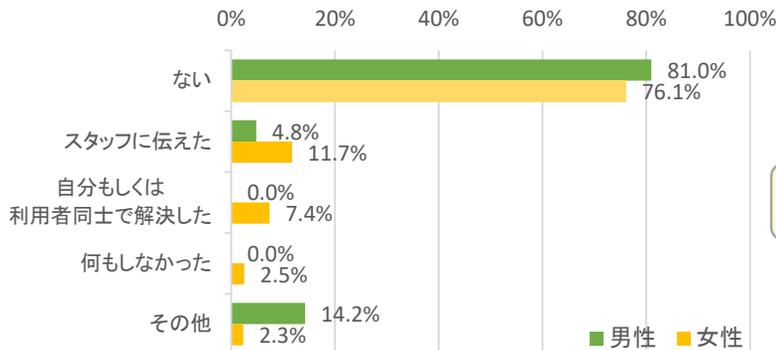
・子どもが楽しく遊んでいるのでリラックスできる
・子どもたちが安心して遊んでいる
・子どもたちが楽しそう

皆さん同士譲り合って気持ちよく利用されている

スタッフが声をかけてくれる

Q：どろっぴにいる時に

困ったことはありますか？



ベビーカーをたたむのが大変だった

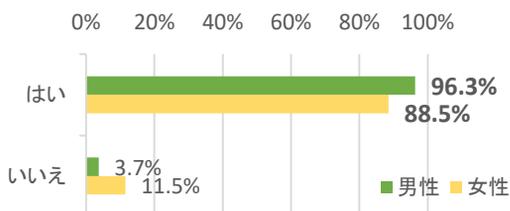
上の子が外遊びをしたがっているのでも下の子を見てもらえるか

オムツを忘れた

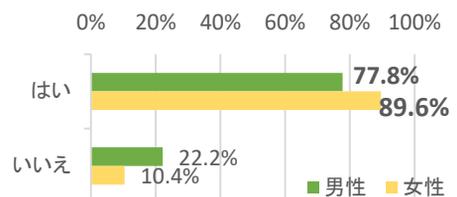
トイレに行きたいときに声をかけるのが難しかった

他の人の写真に自分の子どもが写りこんでしまったみたい

Q：どろっぴで周りにいる人が困っていたら「手伝おうか」と声をかけられますか？



Q：どろっぴにいる時「手を貸してほしい」と周りの方にお願いできますか？

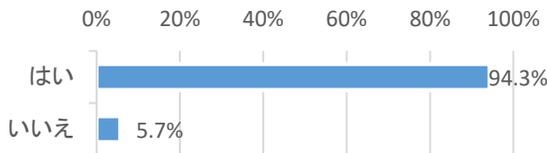


周りの方に、手伝おうかと声をかけられる方が多数おり、お互い助け合ってひろばですごそうと考えているのではないのでしょうか。しかし困った時に手を貸してほしいと言えなかった方もいることが分かりました。どろっぴでは「子どもがまんなか みんなで子育て」をキーワードに、地域や様々な人を巻き込みながら安心して子育て出来るように「手を貸してほしい」と言えたり「手伝おうか？」と声をかけることが出来るひろばを作れるように心がけています。

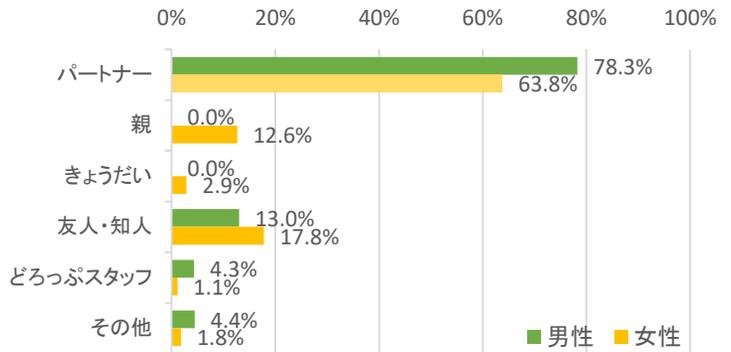
声をかけ合えることで、みんなで子育てをする繋がりを生み出せるきっかけになると良いですね。

まずはスタッフ、サポーター、ボランティアに声をかけてみてください。そこから皆さんがすごしやすいひろばを作ることが出来るように一緒に考えていきましょう。

Q：育児に関して相談相手はいますか？

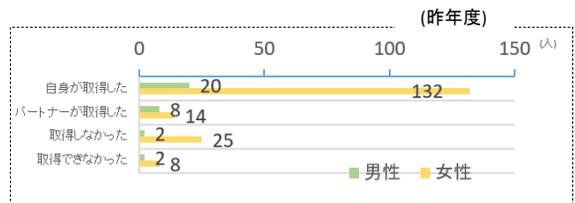
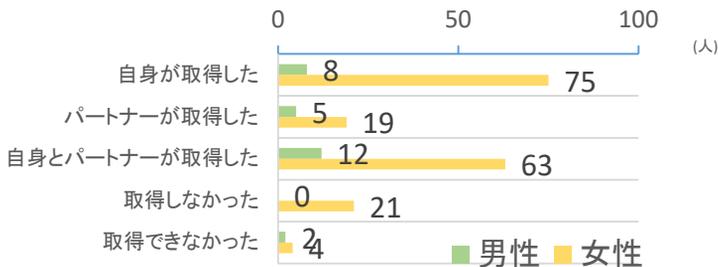


Q：一番よく相談する相手は誰ですか？



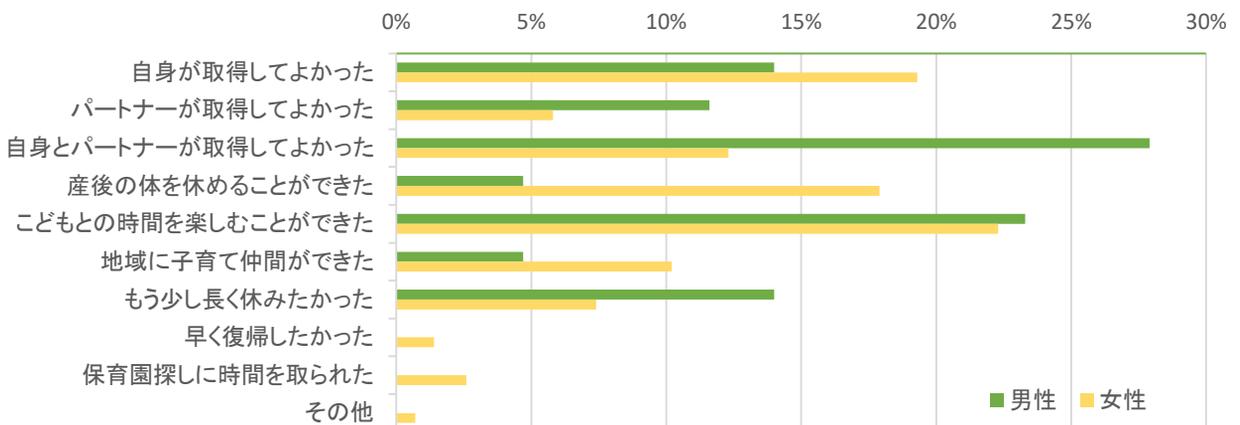
相談相手として男女ともパートナー、と答える方が多く、まずはパートナー同士で話し合うということが読み取れます。男性は親、きょうだいと答えた方がいませんでした。昨年は男性は友人・知人、どろっぷスタッフと答えた方がいなかったのですが、今年は友人・知人13%、どろっぷスタッフ4.3%の回答がありました。男性にとっても相談できる場となってきているようです。

Q：育児休業（休暇）を取りましたか？



Q：育児休業（休暇）を取得してどのように感じましたか？

（「自身／パートナーが取得した」方のみ、延べ）

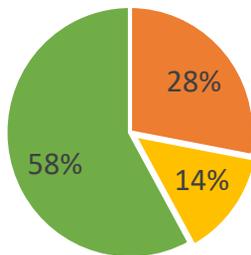


育休取得率は前年度と比較して増加傾向、「自身とパートナーが取得した」の設問を追加した結果として、自身もパートナーも育休をとる家庭が増えていることが読み取れます。こどもとの時間を楽しむことができた、もう少し長く休みたかったと回答する方が多いことから、こどもとの愛着をはぐくむ大切な時間と感じているのだと思います。今後さらに多くの方が育児休業を取得でき、ひろばを利用して地域につながるきっかけづくりになると良いと思います。

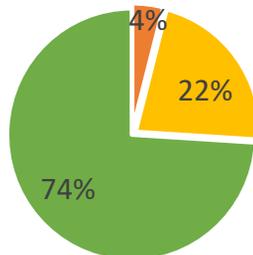
Q：「触れ合い体験授業」を知っていますか？

どろっぴ

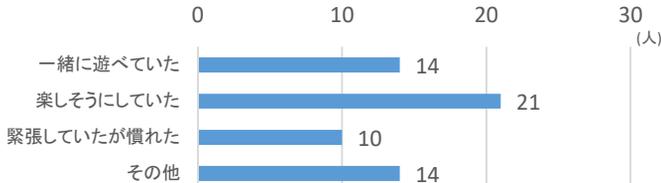
- 知っている、参加したことがある
- 知っているが参加したことはない
- 知らなかった



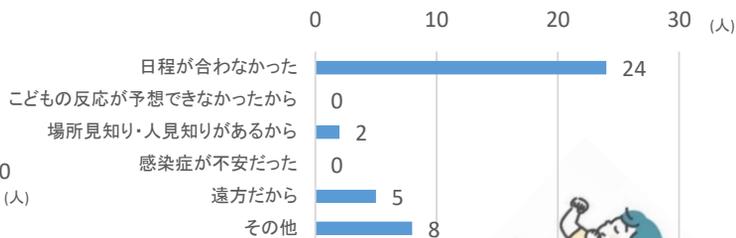
どろっぴサテライト



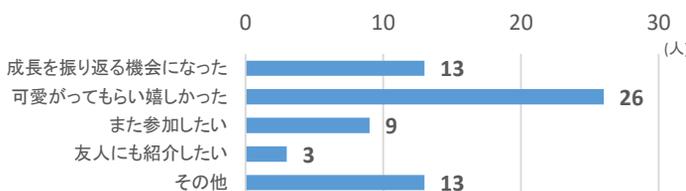
Q：参加してみてどうでしたか？(子ども)



Q：参加しなかった理由があったら教えてください(「知らなかった」を除く)



Q：参加してみてどうでしたか？(保護者)



触れ合い体験授業を知らないと回答された方が両拠点の平均で66%と認知度が低く、周知するにあたり利用者の意見も取り入れながら検討していきたいです。参加してくださった方の意見として、保護者からは「中学生の子育てに対するイメージを知ることができた」「将来通うことになる小学校の様子が見ることができた」「子どもが楽しそうにしていた」と嬉しい意見がありました。乳幼児家庭にとっては小中学生との温かな関わりから『地域全体で子育てをする』、小中学生は『将来の子育てを意識する』きっかけとなる大切な取り組みをこれからもっと広めていきたいと思えます。

Q：その他のご意見・ご感想

どろっぴのおかげで前向き
になれた肯定してもらえて
嬉しかった

おもちゃが定期的に新しく
なったりメンテナンスされると
いいな

ホームページが使い
づらい欲しい情報に
たどり着けない

臨床心理士さんの相談日
なども助かっている

さまざま
ご意見より

プログラムでも親同士でお話
できる機会があり、子育てを
楽しめています

実家は遠方なので、
この場所があつてよ
かった

17時や16時半
までやっている
と助かる

いつも温かく迎え入れて
くれて本当にありがたい
場所

いろいろな意見をありがとうございます。実家が遠方という利用者は多く、どろっぴが第二の実家と思ってもらえるような温かな施設でありたいです。「その他のご意見・ご感想」では「いつもありがとうございます」「助かります」という感謝の言葉が多く寄せられました。どろっぴはボランティア、サポーター、地域の方、そして利用者の皆さんと共に「子どもをまんなか」に子育てできる環境を目指しています。